



※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	1,120,000株	2019年3月期	1,120,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	15,328株	2019年3月期	15,286株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	1,104,700株	2019年3月期2Q	1,104,714株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速等世界経済の下振れリスクが懸念され、先行き不透明感が続いております。

このような環境のなか、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,263百万円（前年同四半期比6.9%減）、損益面におきましては、営業損失38百万円（前年同四半期は営業利益166百万円）、経常損失38百万円（前年同四半期は経常利益175百万円）、四半期純損失60百万円（前年同四半期は四半期純利益117百万円）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

## ① 製造事業

中国マーケットにおけるFPD（フラットパネルディスプレイ）関連設備向け製品売上の減少をその他製品売上でカバーできず、売上高は1,932百万円（前年同四半期比8.6%減）となり、損益面におきましては、セグメント損失297百万円（前年同四半期はセグメント損失74百万円）となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは1,052百万円（前年同四半期比16.3%減）、送風機・圧縮機は336百万円（前年同四半期比14.6%増）、部品は377百万円（前年同四半期比10.1%増）、修理は165百万円（前年同四半期比24.7%減）の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、売上高は160百万円（前年同四半期比27.1%減）となりました。

## ② 不動産事業

オフィス市況が引き続き堅調に推移したことから、売上高331百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益258百万円（前年同四半期比7.6%増）と増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は585百万円減少し7,013百万円、負債は489百万円減少し5,147百万円、純資産は96百万円減少し1,866百万円となりました。

総資産の減少は、現金及び預金が130百万円、受取手形及び売掛金が285百万円減少したこと等が主な要因です。

負債の減少は、支払手形及び買掛金が236百万円、電子記録債務が202百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産の減少は、利益剰余金が104百万円減少したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は26.6%（前事業年度末は25.8%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ130百万円減少し、1,786百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少439百万円等の減少要因があったものの、減価償却費100百万円、売上債権の減少270百万円、たな卸資産の減少85百万円等の増加要因により、全体としては29百万円の資金の増加（前年同期は92百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出87百万円等により、98百万円の資金の減少（前年同期は87百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入569百万円、長期借入金の返済による支出586百万円、配当金の支払額43百万円等により、61百万円の資金の減少（前年同期は45百万円の資金の減少）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきまして、第3四半期以降は売上の回復が見込まれ、利益面で黒字化が見込まれますが、第2四半期累計期間での損失が予想を上回り、2019年5月13日に公表した業績予想を下回る見込みとなったことから、2019年11月1日付で前回予想を修正いたしました。詳細につきましては同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,917,286	1,786,869
受取手形及び売掛金	1,692,846	1,407,228
電子記録債権	351,492	366,336
たな卸資産	904,365	818,723
その他	86,562	34,824
貸倒引当金	△2,257	△2,195
流動資産合計	4,950,295	4,411,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,324,449	1,288,687
土地	631,643	631,643
その他(純額)	186,883	161,932
有形固定資産合計	2,142,975	2,082,263
無形固定資産		
無形固定資産	89,931	92,853
投資その他の資産		
投資有価証券	341,922	351,677
その他	74,646	75,222
投資その他の資産合計	416,568	426,899
固定資産合計	2,649,475	2,602,017
資産合計	7,599,771	7,013,804
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	672,470	435,840
電子記録債務	625,544	423,125
短期借入金	32,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	1,012,127	941,590
未払法人税等	—	12,788
賞与引当金	70,186	60,424
災害損失引当金	—	7,675
その他	295,419	232,954
流動負債合計	2,707,747	2,146,397
固定負債		
長期借入金	1,705,757	1,758,406
繰延税金負債	33,069	43,638
退職給付引当金	539,661	538,722
役員退職慰労引当金	146,140	136,180
その他	504,999	524,370
固定負債合計	2,929,626	3,001,316
負債合計	5,637,373	5,147,713

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,931	303,931
利益剰余金	731,983	627,694
自己株式	△29,418	△29,521
株主資本合計	1,791,496	1,687,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	170,900	178,985
評価・換算差額等合計	170,900	178,985
純資産合計	1,962,397	1,866,090
負債純資産合計	7,599,771	7,013,804

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,431,229	2,263,775
売上原価	1,914,977	1,961,113
売上総利益	516,252	302,661
販売費及び一般管理費	349,685	341,434
営業利益又は営業損失(△)	166,567	△38,772
営業外収益		
受取利息	196	185
受取配当金	4,521	4,632
受取保険金	8,471	—
その他	9,267	10,472
営業外収益合計	22,456	15,290
営業外費用		
支払利息	13,740	12,305
その他	215	2,811
営業外費用合計	13,955	15,117
経常利益又は経常損失(△)	175,067	△38,599
特別損失		
固定資産除却損	164	—
投資有価証券評価損	—	1,894
災害損失引当金繰入額	—	7,675
災害による損失	—	370
特別損失合計	164	9,939
税引前四半期純利益 又は税引前四半期純損失(△)	174,903	△48,539
法人税、住民税及び事業税	43,847	4,557
法人税等調整額	14,045	7,004
法人税等合計	57,893	11,561
四半期純利益 又は四半期純損失(△)	117,010	△60,100



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益 又は税引前四半期純損失(△)	174,903	△48,539
減価償却費	94,683	100,387
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△587	△62
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,019	△9,761
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,609	△939
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,620	△9,960
受取利息及び受取配当金	△4,717	△4,817
支払利息	13,740	12,305
固定資産除却損	164	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,894
災害損失引当金の増減額(△は減少)	-	7,675
災害による損失	-	370
売上債権の増減額(△は増加)	89,811	270,773
たな卸資産の増減額(△は増加)	△276,400	85,642
その他の資産の増減額(△は増加)	△26,096	12,979
仕入債務の増減額(△は減少)	156,771	△439,049
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,449	20,820
小計	220,032	△280
利息及び配当金の受取額	4,720	4,821
利息の支払額	△13,753	△13,862
法人税等の支払額	△118,394	△3,096
法人税等の還付額	-	42,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,605	29,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△116,834	△87,603
有形固定資産の除却による支出	△142	-
無形固定資産の取得による支出	△20,242	△24,987
貸付金の回収による収入	630	630
預り保証金の返還による支出	△2,453	△3,518
預り保証金の受入による収入	51,613	17,044
その他	20	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,408	△98,450
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500,000	569,000
長期借入金の返済による支出	△512,588	△586,888
自己株式の取得による支出	-	△102
配当金の支払額	△32,920	△43,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,508	△61,879
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△40,310	△130,416
現金及び現金同等物の期首残高	2,019,087	1,917,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,978,777	1,786,869

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。